

令和5年度 第28回中学校入学式

式 辞

春の香りが満ちあふれる今日のおよき日に、父母会長並木恭之様、ご父母の皆様のご臨席を賜り、第28回国學院大學栃木中学校入学式を挙行できますことは、大きな喜びであり、皆様方には厚く御礼申し上げます。

新入生44名の皆さん、入学おめでとうございます。

國學院大學栃木学園川福基之理事長はじめ教職員一同、皆さんの入学を祝福すると共に、心から歓迎いたします。また、これまでお子様を愛情深く支えてこられたご父母の皆様、特にこの3年間はコロナ禍で様々なご苦労があったと思います。それだけに立派に成長されたお子様の姿に、感激もひとしおのことと拝察いたします。お子様の入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、今、ここに中学生として座っている感想はどうか。皆さんの顔をこうして拝見していると、とても輝いて見えます。中学受験という試練、コロナ禍という逆境を乗り越え、晴れて國學院大學栃木中学校の一員となりました。今日から新たな環境での中学校生活が始まります。大きな決意と覚悟、少しの不安が入り交じっているものと思います。でも、大丈夫です。私たちは常に皆さんを見守り、そして寄り添っています。また、上級生である2年生・3年生も皆さんを親切に教え導き、手本を示してくれます。大きな希望と喜びを持ってスタートしましょう。

皆さんが自ら選んだ本校は、私立学校であり、私立学校には建学の精神があります。建学の精神とは、学校が造られた目的や理念のことですが、本校は國學院大學の建学の精神を自らの建学の精神としています。「日本の歴史や文化・伝統をよく理解し、道徳心を養い、立派な日本人になる」ことです。それを具体的に表したものが「たくましく 直く 明るく さわやかに」という校訓です。この校訓を理想の生徒像として教育を行って

います。この校訓をしっかり胸に刻み6年間を過ごして下さい。

では、入学にあたり、皆さんにこれからの学校生活において心掛けてほしいことをいくつか述べたいと思います。

一つ目は、「挑戦」です。皆さんが持っている可能性を広げてほしいのです。本校での学校生活は今までとは比べものにならないくらい多くの挑戦の機会があります。学習活動はもちろん、文化祭や体育祭を始めとする数多くの学校行事、オーストラリアやアメリカなどへの海外研修、部活動、生徒会活動等あらゆる機会を自分自身の挑戦の場ととらえて、積極的に取り組んで下さい。時には、与えられるばかりでなく、自ら課題を設定し、自らそれに向かって努力することを期待しています。皆さんには一人ひとり優れた個性があり、鍛えれば大いに伸びる可能性が秘められています。この可能性に精一杯挑戦し、今まで知らなかった自分を知り、その優れた能力を開花させてください。皆さんが将来、次世代のリーダーとして世界で大いに活躍してくれる日を私たちは望んでいます。行事は人の心を育てます。

二つ目は、「本気」になることです。私の出身校は姉妹校である國學院大學久我山高等学校で、野球部に所属し主将を務めていました。私は中学校までは野球ばかりしていて、全く勉強をしなかったのですが、当時の担任の一言で勉強に目覚めました。さらに当時の学校長（本校初代校長）佐々木周二先生の教えである「鍛える教育」で、先生方がその方向に導いて下さった結果、「自ら鍛える」「常に自分を厳しい場所に置く」という考え方に変わり、何事にも「本気」の取り組みによって、「真の文武両道」を貫く事ができました。本気になると心構えが変わります。考え方が変わり、行動を起こす、そしてそれがいつしか習慣となり結果につながる。その事でその人の運命が変わり、人間（魂）が変わります。自分の能力に線を引いたり、限界を作ったりしないで下さい。

三つ目は、基本的な生活習慣を身につけましょう。

あいさつがしっかりできる、時間を守る、身の回りの整理整頓ができる、

掃除等が自主的にできる、服装や頭髪を正しく整える、社会や家庭、学校などのルールをしっかりと守る等を実践する事で更に他人への思いやり、気遣い、心配り等、「人としての力」が養われていくのです。

ここで一昨年書いたラグビー部の記事を紹介します。

白石和輝主将を中心に安定した学校生活を送っている。挨拶を徹底し、服装を正し、授業に積極的に取り組む。また学年に関係なくのびのびとした環境でプレーし、その後の後片付けも皆です。当たり前前を当たり前前にやる。このような姿勢こそ、最大のメンタルトレーニングである。花園栃木県予選の佐野日大戦では99対0で完勝。素晴らしい試合内容であった。それ以上に控え選手たちの応援マナー、試合後の片付けをレギュラーが自ら行う姿勢。普段の安定した生活通りだ。全国の頂点を予感させる。見事、全国準優勝でした。

学習や学校行事、基本的な生活習慣を通して、人は成長します。目標は「進路実現」や「全国大会出場」であって、目的は「人格形成」、人を育てる事です。

新入生の皆さんは、目標をしっかりと立てて、6年間を過ごしてほしいと思っています。これを実践し、別人になって卒業していった先輩たちがたくさんいます。

四つ目は、「仲間、友だち、親友を作る」ことです。皆さんのこれからの6年間は一生涯の中で最も多感な時期であり、その間、共に授業や部活動、学校行事などに全力を尽くし、互いに努力したり、協力したり、競い合ったりする中で、本当に強い絆が結ばれることでしょう。

当然、時には意見が合わず、仲違いをすることがあるかもしれません。しかし、誰にでも自分より優れたところが必ずあります。その良さを見つめようとする姿勢で接すれば、相手に優しくなり、距離も近づき、集団の結束も固くなります。最終的には、自分が元気をもらうことができます。今、ここにいる皆さんは、喜びも悲しみも分かち合える友だち、そして「生涯を通じての親友」となることを認識して下さい。

かつて人類が経験した事のない急速で大きな変化や複雑化する世の中を、6年間の経験で「生き抜く力」を養ってほしいと思っています。

最後になりましたが、ご父母の皆様へひと言ご挨拶申し上げます。私たち教職員一同は、お引き受けした一人ひとりを大切にし、その持てる可能性を最大限に伸ばす教育活動を推進いたします。そして、3年後には全員が「國學院栃木で良かった」と心から思えるような学校づくりに努力して参る所存です。どうか、御父母の皆様には、本校の教育に対するご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さあ、皆さんは、今、國學院栃木の生徒としての第一歩を踏み出しました。これからは、心と頭と体をバランスよく鍛え、これからの土台をしっかり築いて下さい。

本校での6年間、「本気で青春」「生徒一人ひとりが輝いてほしい」「その場所が國栃、ココにあります」

皆さんの学校生活が、実り多く豊かなものになることを心から願い、式辞といたします。

令和5年4月6日

國學院大學栃木中学校
校長 實島 範朗